

介護ステーション ぶらんち ニュースレター

Vol. 96

令和6年12月号

ノーベル平和賞 受賞で平和ボケに喝！！

今年もあと半月。

皆様はどのような年でしたでしょうか。

弊社は、私も含め、前代未聞の暑さもありましたが、振り返ると、平穩無事に皆様のおかげで、運営することができたことに安堵感いっぱいです。

世の中、世界をみると、平穩無事、安堵感、とは無縁の状況。

話し合いでお解決、というより、武力・力の張り合い、という情勢が続いて

います。そんな情勢に喝！！を入れるか、のように、

今年のノーベル平和賞に日本の被団協が受賞されました。

これは、平和ボケしている私たちに、

今、世界情勢は一発触発状態なんだ！

を示してくれたような気がしてなりません。

被団協は被爆者の方々が立ち上げた団体であること、

その生の実情からそれによって起こる余波がおそろしいほど長期に渡ることを身をもって知っているの、言葉の重みが違う。

「核兵器は人類と共存できない」

その言葉の重みを忘れず継続していくには、若い世代・私達が、引き継いでいかなければならない。

未来をみんなが自分で考える力が今、必要ではないでしょうか。



介護業界を盛り上げよう！！

東京都が新たな助成金をだしています。

今年、介護・障害の報酬改定があり、

訪問介護の報酬が下がりました。

そこで、東京都は

介護・福祉職員等を対象とした居住支援特別手当を支給してくれることになりました。

令和6年4月～令和7年3月までの1年間。

えっ、1年間？

報酬改定の見直しは次の制度改定の2028年なのに・・・

このように、最近の助成金・補助金・手当等は、その瞬間だけ、で、継続する際には、

また、新たな仕組みになる

現場としては、

ひとつの助成金、補助金、手当等をもらうために

書類作成に時間を割くのが一苦勞。

そして、同じような意味での助成金・補助金・手当等

なのに、継続しての支給・支援のために

微妙に制度申請を変える。

そのたびごとに、あたふたとしながら、

申請書類を作成する。

この繰り返し。

もっと、瞬間ではなく継続するを目的としての支援・手当にして欲しいと願うばかり

ぶらんちの今を紹介

ぶらんちの井戸端カフェでは、利用者様が在宅で出来る限り元気で過ごしていくことができるよう、支援する取り組みはないか・・・と考え、議論を交わしてきました。

そして、利用者様の悩みの解決の手助けになる、体操を動画にして、弊社スタッフとともに、日々の生活に取り入れてもらう、はどうだろうか・・・と。

例えば

- 最近、足の浮腫みが出て来た
 - 腰が痛くて・・・
 - むせることが多くなってきた
 - 歩く時につまづくことが多くなってきた
 - 膝の痛みが時々ある
- などなど

その悩みの解決に役立つ体操をひとつずつ動画で作ってみよう取り組みことにしました。皆様、乞うご期待！！